科目ナンバリング	U-LAS13 10010 LJ60						
授業科目名 <英訳>	基礎有機化学II Basic Organic Chemistry II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　　津江　広人		
群	自然科学科目群	分野(分類)	化学(基礎)			使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	金3	配当学年	主として1回生	対象学生	理系向

[授業の概要・目的]

主に大学の有機化学初学者を対象として、大学における有機化学の基礎を修得することを目的とする。特に、有機化学における反応について、個々の反応を紹介するだけではなく、そもそも何故そのような反応が進行するかについて、エネルギー論と分子軌道論など、理論的な観点から説明できるような知識の習得を目的とする。

[到達目標]

有機化合物による基本的な反応を、構造、電子物性の観点から理解する。また、あらゆる事象を分子レベルで考える姿勢を学ぶ。

[授業計画と内容]

基本的には指定教科書の単元に従って以下のように講義を進める予定である。
ただし、講義の進行度合いに応じて時間配分などを変えることがある。

１．有機ハロゲン化合物の性質と反応【3週】
２．アルコール・フェノールの性質と反応【2週】
３．エーテルの性質と反応【2週】
４．アルデヒド・ケトンの性質と反応【2週】
５．カルボン酸とその誘導体の性質と反応【3週】
６．アミンの性質と反応【2週】
７．フィードバック 【1週】

[履修要件]

・前半（基礎有機化学I）との連続した履修を推奨する。
・クラス指定の１回生の受講を優先します。クラス指定のない１回生や再履修生の受講申し込みも受け付けますが、受け入れ限度があるため、先着順とします。
・理学部、工学部理工化学科、及び薬学部の再履修生は該当するクラス指定の基礎有機化学Iを受講してください。

[成績評価の方法・観点]

定期試験（筆記）75%と、平常点（授業への出席状況と演習への参加状況）25%、により評価する。

[教科書]

山口良平、山本行男、田村 類 共著 『ベーシック有機化学(第2版)』（化学同人）ISBN:978-4-7598-1439-2

基礎有機化学II(2)へ続く↓↓↓

基礎有機化学II(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に次回の講義内容を示すので、事前に教科書を読んでおくこと。また、教科書の章末問題等を活用して、講義内容の復習に努めること。

[その他（オフィスアワー等）]

・文系学生（または高校での化学を履修していないもの）の履修も可否を問わないが、その場合は事前にメールにてその旨を連絡すること。
・わからないことがあるときや理解不十分のときは、授業中またはその前後に遠慮なく質問してください。